



◆令和6年度第1回学校運営協議会を開催しました。

令和6年7月22日（月）に次の内容で第1回学校運営協議会を開催しました。

○協議事項1（学校運営に関すること）

- ・学校運営協議会の設置について
- ・令和6年度（2024年度）学校経営方針について
- ・本校の教育内容について
- ・地域と連携した教育活動について

○協議事項2（学校支援に関すること）

- ・グループ別協議（2グループに分かれて実施）



◆グループ別協議について

①グループ別協議では、テーマを【地域と協働した学習を「点」から「線・面」へ】と設定しました。

②最初に、月ごとにまとめた「本校で取り組んでいる地域と協働した学習について」確認しました。

③次に協議の柱を二本立てて意見交流を行いました。

- ・協議の柱1：地域と協働した学習をととして、生徒の自己有用感を高めるためにできること
- ・協議の柱2：本校の取り組みを広く地域に知っていただくためにできること



◎各グループから次のような意見が出されました（抜粋）

◆第1部会

- ・点と点、個人と個人でのつながりはあるが、それを全体として把握する必要がある。
- ・X（旧Twitter）の活用に関して、個人情報や管理等の関係で難しい面があるかもしれない。例えば、本校は積極的にホームページを更新しているが、更新したことを知るには本校ホームページにアクセスしなければならないため、Xにホームページ更新情報を載せる形も良いのではないかな。
- ・町の広報誌に、本校ホームページの二次元コードを載せることができると、広く町民に知らせることができるのではないかな。
- ・ブランディングの視点より、「学校ならではのもの＝本校の売り（PRポイント）」を教職員で共通理解を図ることができると良い。

◆第2部会

- ・製品を作り、たくさんの方々に製品を買ってもらうことが、生徒のモチベーション向上につながっていると感じる。
- ・製品を販売したあと、紙でのアンケートも良いが、二次元バーコードを活用した方が、購入者がアンケートに回答しやすいと感じる。
- ・学校開放講座が地域で人気のため、すぐに希望者で枠が埋まってしまう。もし可能ならば、もう一回開催できると良い。その際、現在、教職員が講師を担当しているが、2回目は課業日に開催し、生徒が講師を担当することができると、生徒の自己有用感が高まるのではないかな。
- ・本校の活動を広く地域に知ってもらうために、SNSの活用とともに、SNSが身近ではない方のために町内の掲示板（郵便局、JR駅、スーパー、病院等）を活用することができると良い。